

■新小林市の概要

■はじめに

平成22年3月23日、小林市と野尻町が合併して、新しい「小林市」が誕生します。小林市役所が本庁となり、旧野尻町役場は総合支所として野尻庁舎となります。また、住民自治の強化や行政と住民との協働の推進などを目的に、合併前の野尻町の地域に合併新法による地域自治区が、合併の日から平成28年3月31日まで約6年間設置されます。地域自治区には野尻町区の住民から選出された委員で構成する地域協議会と、合併の日から2年間に限り特別職の区長が置かれます。

このため野尻庁舎では、従来どおりの住民の皆さんの生活に関連する業務や地域振興に関する業務と、地域協議会の運営に関する事務を併せて行っていくこととなります。この「暮らしの便利帳」は、市役所の身近な手続きや公共施設などの情報を皆さんにお知らせするために作成したものです。身近なところに置いていただきご活用ください。

■まちのあゆみ

明治22年 5月1日	町村制施行、五日町・十日町・細野村・真方村・東方村・水迫村・堤村・北西方村・南西方村の2町7村が合併し「小林村」誕生、「須木村」誕生 紙屋村・東麓村・三ヶ野山村が合併し「野尻村」誕生
大正元年11月5日	「小林町」誕生
昭和23年 4月1日	大字紙屋が「紙屋村」として分立
昭和25年 4月1日	「小林市」市制施行
昭和30年 2月11日	野尻村と紙屋村が新設合併し「野尻町」誕生
平成18年 3月20日	小林市と須木村が新設合併し新「小林市」誕生
平成22年 3月23日	小林市と野尻町が編入合併し新「小林市」誕生

■位置・地勢

小林市は、南九州の中央部及び宮崎県の南西部に位置し、北部は西米良村、熊本県多良木町、東部は宮崎市、綾町、南部は高原町、都城市、鹿児島県霧島市、西部はえびの市、熊本県あさぎり町と接しています。南西部には霧島連山、北部には九州山地の山岳が連なり、地形的には、霧島火山帯のカルデラ地帯が陥没してできた台地となっており、市街地の中心部も標高約200mとなっています。面積は563.09km²で宮崎県の7.3%を占めています。気候は、夏暑く、冬は冷え込む内陸型の温暖多雨地域に属していて、年平均気温は約16度、年平均降水量は2,600mmを超え、また、昼夜の気温差や夏と冬の寒暖差が大きいことから、霧の発生が多くなっています。

国道221号、265号、268号及び宮崎自動車道などの広域交通網が小林市を中心に放射状に整備され、宮崎市、鹿児島市、熊本市などの地方中核都市と連絡しています。また、鉄道は、日豊本線に接続する都城と肥薩線に接続する吉松を結ぶ61.6kmのJR吉都線が市内を通過しており、主に通学的手段として利用されています。

■人口・世帯数

人口 49,820人、世帯数19,023世帯（平成17年国勢調査）

◆市の花 「コスモス」



◆市の花木 「桜」



◆市の木 「モミ」



◆市の鳥 「あおぼと」



◆市の昆虫 「蛍」



観光スポット

再・発・見

知っているようでも、訪ねてみると
思いもよらぬ発見があるものです。
地域の埋まっている宝を掘り起こし
てみてはいかがでしょうか？

■湧水

霧島山系に降った雨が数十年の時を
経て湧き出します。市内には数多く
の湧水があり、市民の生活を支える
「宝」。中でも、夷守岳の麓にある
「出の山湧水」は、全国名水百選に
選ばれています。



■観光農園

小林の特産品である「ぶどう」と「梨」の
フルーツ狩りが楽しめます。種子田地区、
坂下地区で8月上旬から開園しており、甘
い果実を求め多くの人々が来場します。

■陰陽石

宮崎県の観光遺産にも指定された
奇岩。古くから子宝の神として祭
られ、多くの観光客が訪れます。

■北きりしまコスモドーム

星空の美しいまち小林市のシンボルで
あるコスモドーム。巨大天体望遠鏡を
有する観測ドームや、プラネタリウム
で宇宙の神秘を体験できます。



■出の山淡水魚水族館

アマゾンに潜む大魚「ピラルクー」や、
皮膚の表面の古い角質を食べる「ガラ・
ルファ」など、ここでしか見られない珍
しい淡水魚100種を展示しています。



■生駒高原

16万平方メートルという雄大な展望の広
大な花畑に、季節によって菜の花やポピ
ー、コスモスが咲き乱れます。小林を代
表する観光地の一つです。

■コスモス牧場

動物たちとのふれあいやパークゴルフ、
焼肉バイキングなど心も体も満たしてく
れる自然豊かな牧場です。中でも一番人
気はスーパースライダー。全長450メー
トルを一気に滑り降りれば気分爽快です。

■霧島岑神社

『続日本後紀』の837年にその名が登
場するほど長い歴史がある。明治6年
に現在の場所に鎮座してからも、そ
の荘厳な佇まいは変わりません。

■秋の生駒高原

■須木の名勝「ままこ滝」

■西郷隆盛宿営の地

明治10年、西郷軍は堂屋敷を経て、8月27日夏木に宿営しました。一カ月後、城山で自決し、西南の役の終焉を迎えました。



■茅葺きの宿 かるかや

大自然の中に溶け込むようにたたずむ茅葺きの宿はどこかなつかしく、ほっとします。ふるさとに帰ったように思えるやさしい時間が流れる場所です。



須木



■すきむらんど

小野湖に架かり、湖面からの高さは30メートル。小野湖を周遊する「アドベンチャークルーズ」からは更に雄大な姿が見られます。また、天然総ヒノキの内湯や、フィンランド式の本格サウナが、身も心も癒してくれます。

■三之宮峡

竹筋コンクリートで造られた市有形文化財の「橋満橋」、正に畳を敷きつめたように見える「千畳岩」、そそり立つ屏風岩など不思議な風景と出会える。檜の轟（やぐらのとどろ）は環境庁「残したい日本の音百選」に選ばれています。



■東麓石窟仏

国道268号の道路下、ほぼ円形をした岩盤の洞窟の中に高浮き彫りに彫られた石仏があります。中央に薬壺を持った薬師如来、その左右に日光・月光菩薩、そして十二神将が彫られています。制作年代は鎌倉時代末期、あるいは南北朝末期～室町時代などと推定されており、県の指定文化財となっています。



野尻

268

■道の駅 ゆ〜ぱるのじり

レストランや特産品販売所を備えたくつろぎ度満点の立ち寄りスポット。自慢はユニークなお風呂。「バラ湯」は浴槽に色とりどりのバラを浮かべ、その花の数は100以上とゴージャス。ハーブやミストサウナでリフレッシュを。



■のじりこぴあ観光バラ園

観光バラ園「ブルーミングローズ」は、輝く光の中で、一面に咲き誇った、美しいバラの様子から名付けられました。18種類、約3万5千株のバラがみね咲き、年間を通してバラ狩りが楽しめます。

■フロンティア精神実践の父

昭和の初期、資財を投げ打って開田事業を成し遂げた田丸翁と信時翁。このフロンティア精神は今も語り継がれています。

■のじりこぴあ



夏



■メロンフェア 5月下旬
みやざきブランド『めるめるメロン』
(白肉・赤肉) 約30,000個を市価よりも
安い価格で販売します。また、会場から
直接全国各地への発送も可能です。

■出の山ホタル恋まつり
5月下旬～6月上旬
出の山公園内には、数万匹とい
われるホタルが生息しており、「ふるさといきものの里」
にも認定。山が動くと言われるほどの光の乱舞が、多く
の人を魅了します。

■小林市すき納涼花火大会
7月下旬
約5,000発の花火が河川敷で打ち
上げられ、その音が山あいには響き
わたる迫力満点の一夜です。

■六月灯祭 7月下旬
野尻町商工会前に並ぶ灯籠は
幽玄な夏の夜の風物詩です。

■こばやし名水まつり
8月第1土曜日
小林市の誇る市民の宝「名水」
をテーマに、様々なアトラクシ
ョンや催しが行われます。

■のじり湖祭 8月下旬
ミュージック&花火ショーをはじめ、毎年趣向を
凝らした企画が盛沢山です。中でも女尻相撲大会
は会場内に特設された土俵の上で、女性の熱い戦
いが繰り広げられます。

■黒木清次文学碑祭 9月～10月
郷土の偉大な文学者黒木清次氏を偲ぶ。また、市内
の小中学生が作った詩の優秀作品を表彰します。

■陰陽石まつり 9月23日(秋分の日)
陰陽石のしめ縄をかけ替えて、五穀豊穰を祈願。
地元の東方中学校の生徒による勇壮な伝統芸能輪
太鼓踊りが祭りを盛り上げます。

小林新歳時記



■こばやし駅伝競走大会 1月上旬
総合運動公園を発着として、中学校対抗、地校区対抗で競わ
れます。60回を数える伝統ある大会で、チームの誇りをかけ
て、白熱のレースを展開します。





■**ハーブ祭りinのじり** 4月～5月
 薬草・地域作物センターで研究しているハーブや薬草の栽培方法・利用方法を広く知ってもらい健康に役立ててもらおうと平成15年から開催されています。



■**すきイルミネーション**

12月上旬～1月上旬
 須木のシンボルであるハートや栗坊とゆずちゃんが明るく照らします。竹で作ったスタードームなど、さまざまなオブジェの電飾が楽しめます。



■**野尻町イルミネーション**

11月下旬～1月上旬
 野尻庁舎を中心とした国道268号沿い（総延長約2km）を約25万球の電球が彩ります。

冬



■**こばやし冬まつり** 11月23日～1月上旬
 秋まつり終了後に小林駅前広場で開催。小林に冬の訪れを告げます。10万個の電球が夜空を彩る、小林の冬の風物詩です。

■**すき冬至名人まつり** 12月下旬
 わら細工・門松づくり、そば打ち、じねんじょ掘りなど名人の指導のもとで体験ができます。ゆず風呂、須木ならではの料理、加工品も楽しめます。



■**こばやし秋まつり** 11月23日（勤労感謝の日）
 豊作を祝う小林の秋の祭典。ダンスコンテストの華麗な舞いが祭りを盛り上げます。また、物産展では秋の味覚が満載。目でも舌でも楽しめます。

■**すき ほぜまつり**
 11月3日（文化の日）
 小学生による奉納相撲などで豊作祈願をする須木地区の伝統行事。伝統芸能や、華やかなステージイベントが来場者を楽しませてくれます。



■**市民スポーツ祭こばやし大運動会** 10月
 総合運動公園陸上競技場で開催され、各校区の誇りをかけて様々な種目で熱戦が展開。さわやかな汗と笑顔が花咲く市民参加の運動会です。

■**すき栗まつり** 9月23日
 須木の特産品である栗をテーマに、栗狩り体験をはじめ、秋の味覚を楽しめる祭りです。

秋

春



■**まきばの桜まつり** 3月下旬～4月上旬
 植栽100周年を記念して復活。約千本の桜が咲き乱れ、2日間に渡り華麗なステージイベントや夜桜花火が祭りを盛り上げます。



※表示イベントは紙面の関係上、各地区の代表的なイベントの抜粋になります。